



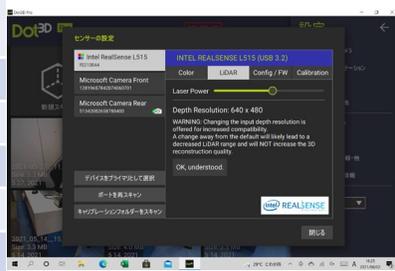
Dot3Dシリーズ各製品タイプ 機能比較と最新機能の一部紹介

ミルトス 株式会社

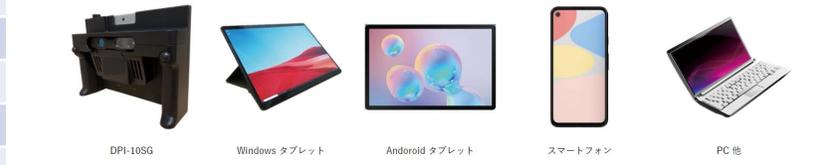
各機能	Free *	EDIT	Lite	X	PRO
3Dスキャン機能 (Intel® RealSense™とDPI/PrimeSense等サポートカメラ含む)			2000万点群迄	1.6億点群迄	1.6億点群迄
HD Photo Capture (背面高精度カメラによる写真撮影)			1Scanで3枚迄可能	無制限	無制限
アペンド (追加スキャン) (既存データに追加スキャンする機能)				✓	✓
新規追加スキャン (前回スキャンした位置から新規スキャン)	✓	✓	✓	✓	✓
シーン最適化	✓	✓	✓	✓	✓
クロッピング (不要点群データ削除)	✓	✓	✓	✓	✓
ユーザー座標設定機能	✓	✓	✓	✓	✓
スクリーンショット (画面撮影)	✓	✓	✓	✓	✓
3次元寸法測定 (2点間の距離)	1回のみ	✓	✓	✓	✓
アノテーション「3Dマークアップ」 (ポイント、平面、シリンダー、イメージ)	1回のみ	✓	✓	✓	✓
保存形式 (各製品により異なります)	DPX	DP/DPX	DP	DPX	DP
Aprilターゲット、スケールバースタゲット、Surveyターゲット、AccuScale-DP Targeting、平行平面の参照機能の対応	✓	✓注1		✓	✓
高度な測定(面積、2点間の直径、立方体、体積)		✓	✓	✓	✓
HD Photo画像の出力 (JPG / TXT)		✓	✓	✓	✓
アノテーション及び寸法結果の出力 (JSON / CSV)		✓	✓	✓	✓
Aprilターゲットのポジション出力 (TXT)		✓注1		✓	✓
バッチ最適化 (一括処理)		✓注1		✓	✓
カスタムアノテーションクラス機能				✓	✓
デザイン比較機能 (DP/DPXファイルとOBJで比較)				✓	✓
ファイル出力機能: PTS, PLY (カラー点群フォーマットで出力)		✓注1			✓
ファイル出力機能: E57, RCS, LAS, LAZ, POD, PTX, PTG(カラー点群フォーマットで出力) ※RCS/POD ファイルの出力はWindowsのみ		✓注1			✓
対応ライセンス形式	Free	1年・3年	1年・2年・3年	1年・2年・3年	永久ライセンス 1年・2年・3年

New Dot3Dシリーズ 機能比較

最新バージョン4.1.1リリース！！



細かなマイナーUPとL115センサーの短距離スキャン設定も可能になりました！
様々なデバイス機器でご利用可能です！



注1：編集中心データ無いのフィーチャーセットは、ファイルがキャプチャされた時点でのDot3Dバージョンによっても異なります。

*Dot3D Freeはライセンス入手後は7日間Dot3D Proのフル機能が利用可能です。(7日以降はFreeの項目にある機能に制限されます。)

IntelRealsenseセンサー L515 LiDARセンサーの焦点距離の調整が可能になりました!

センサーの設定

Intel RealSense L515
f0210844

Microsoft Camera Front
12819657842074060701

Microsoft Camera Rear
51342002658788400

INTEL REALSENSE L515 (USB 3.2)

Color LiDAR Config / FW Calibration

Laser Power

Depth Resolution: 640 x 480

WARNING: Changing the input depth resolution is offered for increased compatibility. A change away from the default will likely lead to a decreased LiDAR range and will NOT increase the 3D reconstruction quality.

OK, understood.

intel REALSENSE TECHNOLOGY

閉じる

新規スキャン

2021_05_27_11
Size: 5.3 MB
5/27, 2021

2021_05_14_15
Size: 3
5/14

カメラ
ステーション
也
報・他
情報

L515のレーザー出力を調整する事で最短40cmからの認識が可能になります。
従来の対象認識範囲で問題がない場合は変更せずにご利用ください。

iOgrapher MultiCaseとスマートフォンを用いた3Dスキャナーキット設定について

今回準備したものの



1. スマートフォン：SAMSUNG Galaxy S20
2. センサーカメラ：Intel Realsense L515 LiDARセンサー
3. ケーブル：USB TypeCケーブル V3.1 以上（最新版3.2を推奨）
4. アプリケーション：Dot3D Pro
5. ハンディケース：iOgrapher MultiCase

（本製品はミルトスにて販売しております）

本製品を組み合わせる事でハンディスキャナーキットとして簡単に利用できます。



スマートフォンを取り出す。

ダウンロードサイトにアクセス→アプリ取得



- 今回はSIM FREEのスマートフォンを用いました。
- ケースから開梱し、OSの初期設定などを実施
(Dot3DはAndroid/Windowsのみサポートしています)

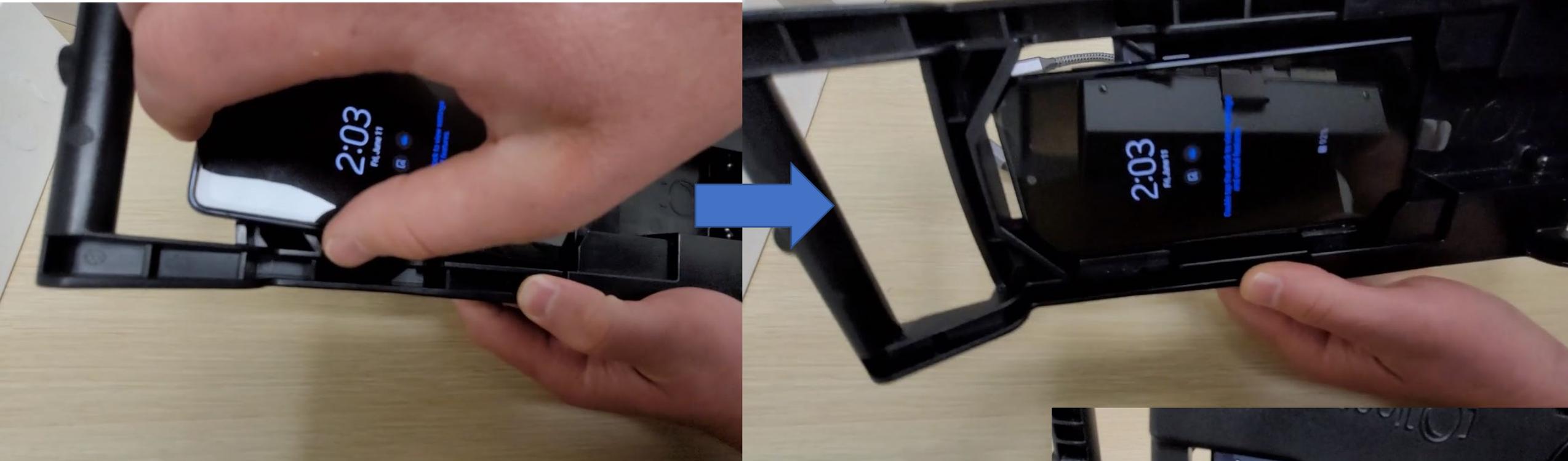
- Android版のアプリケーションをメーカーサイトからダウンロードし、インストールします。
- ライセンス登録し、動作確認します (日本語対応)

iOgrapher MultiCaseを用意する



両端に握られるグリップが装備され、本体の中にスマートフォンを取り付けて利用する事ができます。
裏側にDPI-X, Intel Realsense D415, L515, D455センサー取付用のアタッチメントやマグネットシールを取り付ける事ができます（アタッチメント、シールはセンサーカメラを弊社より購入頂くとご提供しています）

MultiCaseにスマートフォンを取り付ける



ケース本体にスマートフォンを右側のスライダー部に差し込み、中に差し込みながら左側の支え部分に固定させて取付けます。
右側側面にはケーブル等差し込めるように穴が開いています
左側の背面も穴が開いており、スマートフォンの高画質なカメラが表示できるように工夫されています。



USB TypeCケーブルを差し込む



USB TypeCケーブル(3.1以上) ケーブルをスマートフォンのコネクタと IntelRealSenseセンサーのコネクタに接続し、センサーカメラの安定しやすい場所に貼ってあるマグネットシール状に取付て完成します。

ヒント！

このマルチケースにはオプションのライトも取り付ける事ができます。
(右イメージはIntelRealSenseセンサーとライトを取り付けた状態です)

